

## 猪苗代湖の水環境における最近の動向（情報提供）

平成 31 年 2 月 4 日  
 福島県生活環境部  
 水・大気環境課

### 1 猪苗代湖の水質について

環境省が公表している猪苗代湖の水質(COD:化学的酸素要求量)は、平成 14～17 年度まで連続して全国第 1 位、その後は平成 20 年度(全国 2 位)をのぞき大腸菌群数が基準を超過したため対象外となった(図 1)。

環境省は水質には自然由来等の影響があることを踏まえ、平成 29 年度分から pH や大腸菌群数等が基準値を超えた水域も対象としたことなどから、猪苗代湖は全国第 8 位と評価された(表 1)。

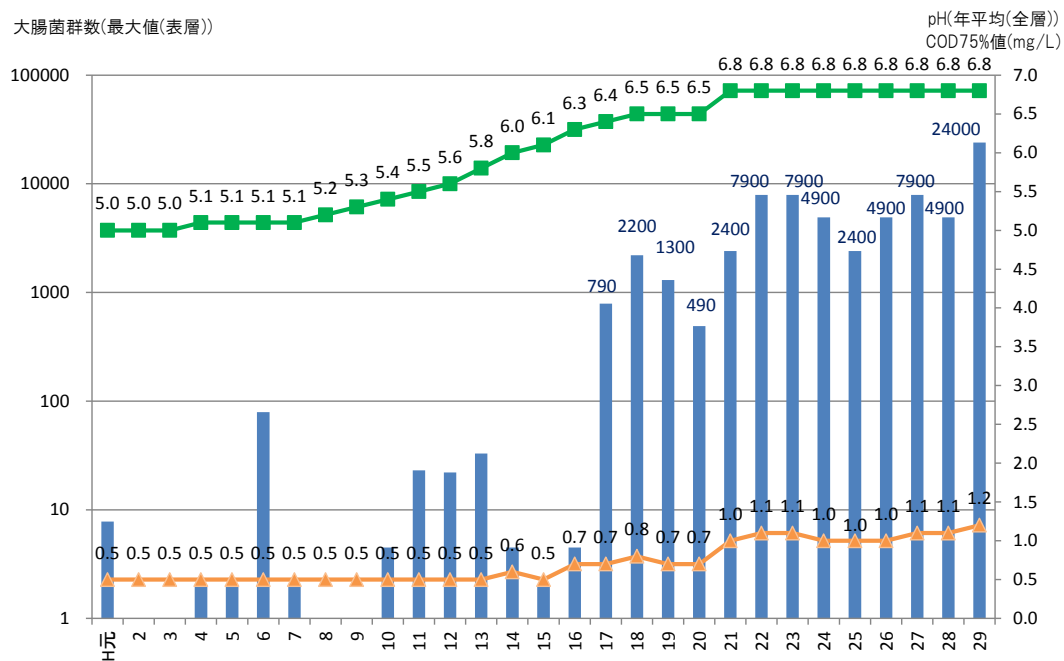


図 1 猪苗代湖の水質の推移 (pH、大腸菌群数、COD)

表 1 全国の湖沼の水質ランキング (平成 29 年度 環境省) と COD について

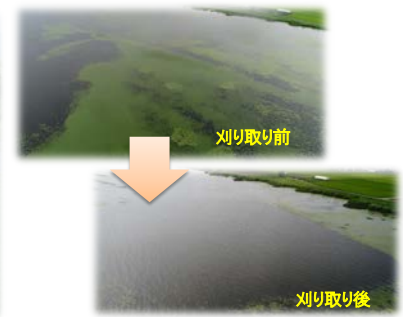
順位	水域(都道府県)	COD 年間平均値	順位	水域(都道府県)	COD 年間平均値
1	支笏湖(北海道)	0.6 mg/L	11	裏磐梯五色沼湖沼群(福島県)	1.2 mg/L
2	田沢湖(秋田県)※		12	深山ダム貯水池(栃木県)	
3	夏瀬ダム(秋田県)※	0.8 mg/L	13	本栖湖(山梨県)※	
4	倶多楽湖(北海道)	0.9 mg/L	14	丸池(長野県)	
5	鏡畑ダム(秋田県)※		15	坂本ダム湖(奈良県)	
6	洞爺湖(北海道)	1.0 mg/L	16	早明浦ダム貯水池(高知県)	
7	味噌川ダム貯水池(長野県)※		17		
8	猪苗代湖(福島県)※	1.1 mg/L	18		
9	中禅寺湖(栃木県)		19		
10	宮ヶ瀬湖(神奈川県)※		20		

“※”は、pH、SS(浮遊物質)、D0(溶存酸素)、大腸菌群数のうち1つ以上が基準を満たしていない水域を示す。

## 2 水質保全対策の実施

### (1) 平成 30 年度の主な実績

事業名	実施時期	場所	実績等
猪苗代湖クリーンアクション 2018	Vol.1 4月14日(土)	天神浜、白鳥浜付近等 (湖岸清掃)	参加者 393名 ごみ等回収量 約 2.6t
	Vol.2 6月23日(土)	舟津浜 (湖岸清掃)	参加者 621名 ごみ等回収量約 4.8t
	Vol.3 11月1日(木)	白鳥浜付近 (ヨシ刈り)	参加者 197名 実施面積約 0.6ha
環境学習会	7月～2月	猪苗代水環境センター (猪苗代町)	全8回を予定し、第6回までの参加者数は145名
刈取船によるヒシ回収事業	7月23日～8月2日	猪苗代湖北岸部	10日間で約 6.2ha のヒシ等を刈り取り
ヒシ回収事業	7月～9月	猪苗代湖北岸部	猪苗代湖の自然を守る会主催
漂着水草回収事業	9月下旬～11月上旬	天神浜、松橋浜	輝く猪苗代湖をつくる県民会議等主催



### (2) 環境創造センターとの連携

主要流入河川のイオンバランスの季節変動と経年変化調査、凍結防止剤散布による流入河川への影響調査、湖内における水温及び電気伝導率の連続測定調査、大腸菌群超過対策調査などを継続して実施するとともに、猪苗代湖及び流入河川を解析し、中性化や COD 上昇の原因を解明する。さらに、富栄養化に伴う水質悪化リスクの評価と汚濁負荷低減策の検討を行う。

